

4 キュウリ小型選別機の導入支援による作業の省力化

情報提供：中部農業事務所普及指導課
利根農業事務所農業振興課 等

活動の背景

キュウリは、形状（長さ、曲がり）と重量によって定められた多様な規格に合わせて選別を行うことから、その作業に多くの労力を必要とする。また、作業負担も大きいため、規模拡大を阻む要因となっており、作業の省力化が望まれている。そこで、群馬県農業技術センターと農機メーカーで共同開発した「キュウリ小型選別機」の実演会を開催し、選別能力や現地での実用性を検討して、省力軽作業化を目指す取り組みを行った。

普及活動の経過

- ・中部地区重点産地支援普及活動推進事業に係る検討会（18年11月30日）・JA 前橋市宮城支所での実演会（20年6月17日）：中部農業事務所主催。小型選別機の実演評価を実施し、いずれも生産者に好評で、その後の生産農家における実証試験、デモ機の試験使用、本機の導入等に結びついている。
- ・JA 佐波伊勢崎での実演会（19年2月16日・20年10月31日）：伊勢崎地区農業指導センター主催。JA 佐波伊勢崎キュウリ専門部会（95名）を対象に開催し、選別精度が高く、実用性は十分にあるとの評価が得られた。
- ・JA 利根沼田での実演会（19年6月26日）：利根農業事務所主催。夏秋どり露地キュウリの生産者を対象として実施し、生産者および関係者ら約40名が参加した。生産者から大きな期待が寄せられた。
- ・JA 館林市での実演会（19年9月28日）・JA 群馬板倉での実演会（19年11月6日）：館林地区農業指導センター主催。生産者の関心を引き、その後モニターとしての機械貸し出し、雇用を入れた農家（抑制裁培）での実証試験等につながっている。



キュウリ小型選別機 NQS-600 i



実演会での選別の様子

普及活動の成果

- ・実際の作業の様子を見て興味を持った農家が多く、様々な意見や要望が出された。
- ・平成19年度の抑制作型から始まった県統一規格によるキュウリ共計販売（現在県内8JAが実施）の取り組み支援ができた。
- ・平成19年より小型選別機の発売が始まり、これまで県内で9台（前橋市3台、板倉町1台、吉井町3台、片品村2台）が導入され、今後も補助事業等を活用した導入計画（前橋市、伊勢崎市等）がある。

技術のポイント

- ・選別作業に習熟していない雇用労働者でも、選別作業への従事が可能である。
- ・機械選別（県統一規格）に合致した規格品の生産に向けて、適品種の選定や栽培技術の習得に努めることが重要である。
- ・選別作業の方法や規模拡大の意向等は個々によって異なるため、機械導入に当たっては事前に省力効果についての検討を十分に行う。